

報告します!

令和6年度

決算報告

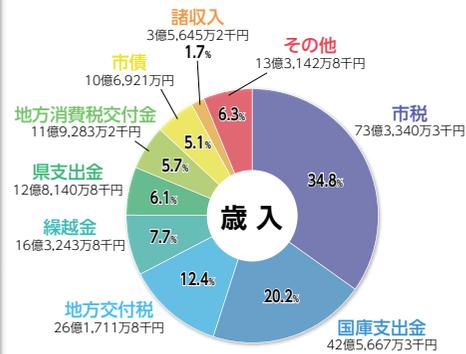
皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金などがどのように使われたのかお知らせします。

用語解説

市税…皆さんが市に納めた個人・法人市税や固定資産税、軽自動車税など
地方消費税交付金…消費税として納付された一部が、人口や従業者数に応じて交付されたお金
地方交付税…国が各市町村の財政力に応じて交付したお金
国庫支出金・県支支出金…国や県が市で行う事業に対して交付した負担金や補助金
繰越金…前年度から繰り越されたお金
市債…国や県、金融機関などから借り入れたお金
総務費…自治体運営経費や企画調整、財務管理の経費
民生費…住民福祉や生活支援に関連する施策の経費
衛生費…健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
土木費…道路や河川、公園などを整備・維持するための経費
教育費…学校や図書館、公民館などの運営・管理の経費
公債費…国や県、金融機関などから借り入れたお金の返済に係る経費

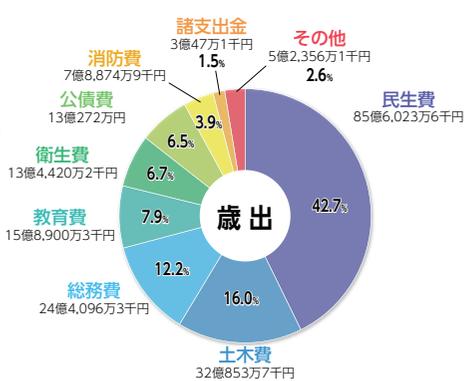
一般会計歳入

210億7,096万2千円
前年比3.2%増



一般会計歳出

200億5,844万4千円
前年比6.7%増



注) 表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の合計や差引額が一致しない場合があります。

収支の状況

歳入から歳出を差し引いた額は10億1,251万8千円で、ここから翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は6億4,864万2千円となりました。

令和6年度 一般会計の主な事業

地域の居場所づくり推進事業



新しい居場所として「シラオカフェ」を開設・運営する実証実験を実施しました。

民間保育所整備推進事業



白岡みちのこ保育園の整備費用を補助しました。

白岡駅西口線道路改良事業



都市計画道路白岡駅西口線の整備を推進しました。

白岡宮代線道路改良事業



都市計画道路白岡宮代線の整備を推進しました。

その他にもさまざまな事業があります



特別会計・公営企業会計決算

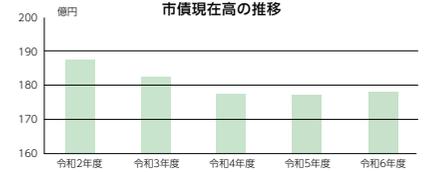
特別会計	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	45億573万円	44億940万円	9,633万円
後期高齢者医療	8億9,875万4千円	8億9,638万1千円	237万3千円
介護保険	42億8,414万5千円	40億5,661万2千円	2億2,753万3千円
蓮田都市計画事業 白岡駅東部中央土地区画整理事業	4億2,011万8千円	3億1,970万8千円	1億41万円

公営企業会計(消費税含む)	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業会計	12億8,478万9千円	9億9,429万7千円	6億9,645万5千円	14億8,519万5千円
公共下水道事業会計	9億5,745万9千円	9億825万2千円	7億9,192万2千円	11億361万円
農業集落排水事業会計	9,323万9千円	9,272万4千円	2,244万6千円	3,799万1千円



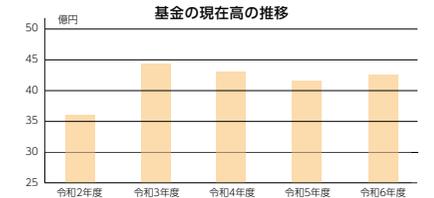
Q 市の借金(市債)はどのくらいあるの?

A 178億3,930万円です。
※前年度比約1億2,436万4千円増



Q 市の貯金(基金)はどのくらいあるの?

A 42億8,776万円です。
※前年度比約1億8,502万1千円増



令和6年度決算に基づく健全化判断比率^{*1}・資金不足比率^{*2}について

「健全化判断比率」「資金不足比率」は地方公共団体の財政健全化に関する法律に基づき公表するものです。なお、今回の算定では、白岡市は健全な状態であるといえます。

健全化判断比率

項目	説明	算定結果	白岡市の財政規模に基づく基準値 (%)	
			早期健全化比率	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などの実質赤字 ^{*2} が標準財政規模 ^{*3} に占める割合	黒字のため該当なし	13.13	20.00
連結実質赤字比率	全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合	黒字のため該当なし	18.13	30.00
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費が標準財政規模に占める割合	4.1	25.00	35.00
将来負担比率	一般会計などが将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合	—	350.00	—

資金不足比率

項目	説明	算定結果	経営健全化基準	白岡市の比率	
				経営健全化基準	白岡市の比率
資金不足比率	公営企業会計の資金不足額が当該会計の事業規模に占める割合	各会計資金不足が生じておらず該当なし	20.0	水道事業会計、公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計いずれも資金不足比率該当なし	

*1 健全化判断比率…全国の地方公共団体の財政状況を統一した基準で比較するための4つの指標。
 *2 実質赤字…形式赤字(歳入決算-歳出決算)-翌年度繰越財源=実質赤字。この実質収支が赤字の状態。
 *3 標準財政規模…地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう通常の一般財源の規模を示します。

監査委員の意見(要約)

「決算書」「実質収支に関する調書」「財産に関する調書」に関し、市長から送付された決算、附属書類などについて、歳入歳出の関係諸帳簿と証拠書類を照らし合わせて審査した結果、関係書類はいずれも法令に適合し、計数も正確であり、その内容は妥当なものと認められた。

令和7年8月20日
白岡市監査委員 長島 清一
江原 浩之

問合せ 財政課財政担当 ☎0480(31)9053